

令和元年度 事務事業評価(平成30年度実施事業事後評価)シート / 令和2年度 実施計画調書 (新規 拡充 縮小 休止・廃止 現状維持)

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--------------|--|--|-----|-----------|--|--|-----|-------|--|------|------------|----|--|--|---|----|---|----|---|----|----|----|
| 1 事務事業の基本情報 | | | | | | | | | | 整理番号 | | | | | | | | | | | | |
| 事務事業名 | 政策推進経費 | | | 補助区分 | <input type="checkbox"/> 国補 <input type="checkbox"/> 県補 <input checked="" type="checkbox"/> 市単 | | | 終期 | <input type="checkbox"/> 決まっている (年度まで) <input checked="" type="checkbox"/> 決まっていない | | 予算科目 | 区分 | 一般会計 | | 款 | 02 | 項 | 01 | 目 | 06 | 事業 | 05 |
| 担当部 | 市長公室 | | 担当課 | 市民と共に考える課 | | | 担当係 | 政策推進係 | | | | | | | | | | | | | | |
| 位置付けられている計画等 | <input type="checkbox"/> じょうそう未来創生プラン前期基本計画 <input type="checkbox"/> 市長マニフェスト「常総創生への道しるべ」 <input type="checkbox"/> 常総市復興計画 <input type="checkbox"/> 市民等からの要望 <input checked="" type="checkbox"/> 常総市まち・ひと・しごと創生総合戦略 <input type="checkbox"/> その他の計画 (名称:) | | | | | | | | | | 根拠法令及び市条例等 | | <input checked="" type="checkbox"/> 国の定める法律 (名称: まち・ひと・しごと創生法) <input type="checkbox"/> 国・県からの通達等 (名称:) <input type="checkbox"/> 市の条例・要綱・規則等 (名称:) | | | | | | | | | |

2 事務事業の目的

☞ 当該事業を実施することで、①「望ましい状態」とはどのような状態か? → ②一方で、「現状や課題」はどうか? → ③そのためには何をすべきか? という過程で考えていただいても結構です。

| | | | | | | | |
|------|--|---------|--|-------------|--|--------|---|
| 現状課題 | H26年、急速な少子高齢化と人口減少、そして首都圏への過度の集中と地方衰退を鑑み、「まち・ひと・しごと創生法」が成立、この法に基づき、国は総合戦略を策定し、それを鑑みて県や市町村毎に総合戦略を策定するよう努めなければならないとされている。 本市では、水害後のH28年6月に「常総市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン及び総合戦略」を策定した。総合戦略の計画期間は5年であり、最終年度のR2年度において、次期総合戦略を策定する。本市が策定する総合戦略は、国や県の総合戦略の内容を鑑みつつ、全庁的な調整を行い、市独自の方向性を踏まえた内容にしなければならない。 | 誰・何を対象に | 各所管から施策を立案するにあたり、全庁的に現状の制度を説明した上で、各所管ごとに地方創生の施策を積極的に立案するなどの調査・調整を行う。 | どのような方法・手順で | 策定は、庁内ワーキング、まち・ひと・しごと創生本部(庁内幹部会議)、総合戦略会議(外部会議)を踏まえて策定する。特に庁内ワーキングについては各所管課より選出し、ワークショップの実施等も含め柔軟な意見抽出を行い、具体の施策検討を行う。 | 望ましい状態 | 総合戦略は、地方創生に向けた施策を掲げるが、成果指標(KPI)を設定するため、「夢物語」の施策であっては今後の進捗管理が困難になってしまう。 次期総合戦略は、庁内全体で十分に「まち・ひと・しごと創生」を理解した上で、各所管から地方創生の施策を立案し、総合戦略を策定し、それを基に地方創生交付金の活用も含めた総合戦略の推進を図っていくことが望ましい。 |
|------|--|---------|--|-------------|--|--------|---|

3 事務事業の主たる成果指標

☞ 数値目標(定量)の設定が困難な場合は、文言目標(定性)でも結構です。なお、指標名・目標値とも設定が困難な事業は空欄でも結構ですが、この場合、設定できない理由を分かりやすく具体的に記入してください。

| | | | | | | | | | | |
|-----|---------------------|----|---|-----|---|------|----|----|-------------------------------------|--|
| 指標名 | 地方創生交付金活用事業(R3~7年度) | 単位 | 件 | 目標値 | 3 | 目標年次 | R7 | 年度 | 指標及び目標値設定の考え方(又は指標・目標値を設定できない場合の理由) | 「地方創生」は政策推進事業の大きな柱であり、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定及び進捗管理などの全庁的なマネジメントを行うとともに、地方創生関係交付金の積極的な活用を図り、地方創生の推進に取り組む。 |
|-----|---------------------|----|---|-----|---|------|----|----|-------------------------------------|--|

4 事務事業の実績 ㉠

☞ 当該事業の予算を使って、『どのような業務をどの程度実施したか。』を記入してください。なお、業務が12個以上ある場合、代表的なものを最大12個記入してください。

| 年度 | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---------------|--------|-----------------|------------|------|--------|-----------------|----|----|----|-----------------|------|----|------|-----------------|---|----|----|------|----|------|----|
| | 業務名 | 活動量 | 業務名 | 活動量 | 業務名 | 活動量 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事務事業を構成する主な業務 | ① | | ① | | ① | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ② | | ② | | ② | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ③ | | ③ | | ③ | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ④ | | ④ | | ④ | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ⑤ | | ⑤ | | ⑤ | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ⑥ | | ⑥ | | ⑥ | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ⑦ | | ⑦ | | ⑦ | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ⑧ | | ⑧ | | ⑧ | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ⑨ | | ⑨ | | ⑨ | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ⑩ | | ⑩ | | ⑩ | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ⑪ | | ⑪ | | ⑪ | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ⑫ | | ⑫ | | ⑫ | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 目標値に対する実績値 | | 件 | 目標値に対する実績値 | | 件 | 目標値に対する実績値 | | 件 | | | | | | | | | | | | | |
| 決算額 | 計 | 0円 | 内訳 | 特定財源 | 0円 | 一般財源 | 0円 | 計 | 0円 | 内訳 | 特定財源 | 0円 | 一般財源 | 0円 | 計 | 0円 | 内訳 | 特定財源 | 0円 | 一般財源 | 0円 |
| | | (住民一人あたりの行政コスト) | | 0円 | | (住民一人あたりの行政コスト) | | 0円 | | (住民一人あたりの行政コスト) | | 0円 | | (住民一人あたりの行政コスト) | | 0円 | | | | | |

5 担当者評価 ㉡

☞ 実施したことによる成果や問題点を記入してください。

| | |
|-----|------|
| 成果 | 成果内容 |
| 問題点 | |

6 担当部長及び担当課長評価 ㉢

☞ 担当部長・課長で協議のうえ、評価してください。

事務事業の方向性

拡充 現行どおり 縮小 休止・廃止

評価理由

7 実施計画 ㉣

☞ 今後3年間の事業内容について、どのようなことをどの程度実施していくつもりなのか、具体的に記入してください。なお、予算額の『歳入の計』と『歳入の計』は一致させてください。

| 年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | | | | | | |
|------|---|--|--|------|---------|---------|-------|---|-------|
| 事業内容 | ○まち・ひと・しごと創生総合戦略(0円) ・国では「まち・ひと・しごと創生総合戦略(第1期)」(計画期間H27~H31年度)が本年度末に終期を迎えるにあわせ、令和元年12月を以て、第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略の改訂を進めている。 ・国と同じく今年度末に計画期間の満了を迎える自治体(県や市町村)では、国の動きにあわせ、今年度中に改訂作業を進め、今年度末までに「第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略」の改訂を進めている。 ・当市は、水害の影響等もあり、国の計画期間よりも1年遅い「H28~H32」ため、令和2年度に改訂する予定。現時点では、第1期の進捗状況を確認する作業のほか、国県の動向を注視し情報収集を行っている。 ※前回の総合戦略は、国から交付金の補助(10/10)があったが、今回は無い。 ※第1期は、大学との共同研究として策定した。 ※地方創生は、各セクションが具体的なイメージを形成し、総合戦略に位置付けらうことで地方創生交付金を活用し、事業推進に取り組むことが望ましい。 ○ふるさとアドバイザー会議(300千円) ○県工業団地立地推進協議会負担金(100千円) ○大学連携(1,000千円) ○自治体交流(100千円) | ○まち・ひと・しごと創生総合戦略(850千円) ・第2期総合戦略の策定(スケジュール案) 8~10月 まち・ひと・しごと創生本部(庁内幹部会議)、ワーキンググループ、総合戦略会議(外部委員会)による総合戦略の立案 11月 議会全協、中間報告 11月 パブリックコメント 3月 議会全協報告、第2期総合戦略の決定 委員報酬 350千円 印刷製本費 500千円 ※R2年度当初予算に要求したが、要求後、策定業務を外部委託せず、直営で策定することにした。印刷製本を外注する予定。 ○ふるさとアドバイザー会議(300千円) ○県工業団地立地推進協議会負担金(100千円) ○需用費等 303千円 | ○まち・ひと・しごと創生総合戦略(210千円) 第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗管理委員報酬 210千円 ○ふるさとアドバイザー会議(300千円) ○県工業団地立地推進協議会負担金(100千円) ○需用費等 300千円 | | | | | | |
| 成果指標 | 指標名 地方創生関係交付金活用事業(R3~7) 単位 件 目標値 0 | 指標名 地方創生関係交付金活用事業(R3~7) 単位 件 目標値 0 | 指標名 地方創生関係交付金活用事業(R3~7) 単位 件 目標値 1 | | | | | | |
| 予算額 | 歳出 | 計 | 1,576千円 | 歳出 | 計 | 1,553千円 | 歳出 | 計 | 910千円 |
| | 歳入 | 特定財源 | | 特定財源 | | 特定財源 | | | |
| | | 一般財源 | 1,576千円 | 一般財源 | 1,553千円 | 一般財源 | 910千円 | | |
| | | 計 | 1,576千円 | 計 | 1,553千円 | 計 | 910千円 | | |

8 財務アドバイザーの見解

9 行政改革懇談会(市民)の意見

10 最終評価(行政改革推進本部) ㉤

☞ 実施計画のみ作成する場合の拡充・縮小・休止・廃止部分もこの欄に記入してください。

事務事業の方向性

拡充 現行どおり 縮小 休止・廃止

評価理由

11 事務事業の改善理由及び改善部分 ㉥

☞ 実施計画のみ作成する場合の拡充・縮小・休止・廃止部分もこの欄に記入してください。

事業内容

平成28年度に「常総市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン及び総合戦略」を策定した。5カ年計画の最終年度であるR2年度に、R3~7年度での地方創生の取り組みの指針となる【第2期総合戦略】を策定する。改訂について国では「期間的に切れ目なく策定すること」と指導しており、今年度末に終期を迎える国・県・市町村では今年度中の「第2期総合戦略」の改訂を進めている。国が示す基本方針に基づいて施策を立案するため、専門的知見を有するコンサルティングの支援を受けながら策定する。